

この記譜法は、NiftyServeのパソコン通信、Nifty フォーラム（現在は閉鎖）内の教育実践フォーラム・専門館《音楽教育》会議室（での通信のために、会議室参加者合意した記譜法である。原案を吉田が提案し、会員の意見を参考に最終的には北山敦康氏に整理していただいた。北山氏の了解を得て公開する。

テキストだけのメールで、旋律を伝える場合に利用していただきたい。

ただし、まだ改良の余地がある。例えば、3連符などは2段にしなければならない。できるだけ1段で表示できるような方法を考えている。ご意見をいただきたい。

またメールで利用する場合は固定ピッチフォントを使っていただきたい。そのほうが見やすい。

会議室における統一記譜法の手引き

教育実践フォーラム・専門館
《音楽教育》会議室

***** ver.1.0 *** 96/05/20 *****

【基本的な考え方】

この記譜法は、基本的にトニックソルファ譜の書法に準じています。また、コンピュータ通信のテキストで用いることを前提にしていますので、半角の英数字と一部の汎用記号のみを使用し、機種依存文字（記号も含む）と準機種依存文字である半角カタカナは使用しません。

【統一記譜法の原則】

次の記譜例に基づいて統一記譜法の原則を説明します。ただし、これはあくまでも原則であって、文章中にドレミファで書いて用が足りる程度の際には無理にこの記譜法を用いなくても結構です。また、どうしても実音表記の必要があるときなども、その都度、適宜工夫して表記して下さって結構です。

例：赤とんぼ（山田耕筰 作曲）

d:Eb (3/4)

/S.d:d :-r/m.s:d'.l:s /l.d:d :r /m :- : /

(1) ド記号：「ド記号 (d:X)」は調号の代用と考えてください。

上の例のように、その旋律が始まる小節の上部に d:X と記してください。

X には、旋法や調性にかかわらず、階名のドにあたる英語音名を書きます。短調の場合でもドの英語音名を書きます。いわゆる主音の概念とは異なりますので注意してください

い。

注) 英語音名 C D E F G A B (大文字を使用)

嬰音は # をつける (# は「シフト+3」)

変音は b をつける (B の小文字を使用!)

^^^^^^^^^^^^^^^^^^^^

(記号のフラットを使用しないこと)

転調して調号が変わるような場合は、その箇所の上部にあらためて d:X と記してください。部分的な転調や平行調への転調の場合には、そのまま変化音を使って書いて結構です。

また、場合によっては、オクターブ表示を付ける必要もあるかと思えます。

その場合には、中央Cを C4 として d:Xn と書いてください。

例 :

d:Eb4

(2) 拍子記号 : ド記号に続いて () 内に拍子を記入します。

例 :

d:X (3/4) 四分の三拍子

(3) 速度記号 : 必要な場合には、速度標語や M.M. を記入してください。

例 :

d:X (3/4) Moderato

d:X (3/4) 4:72 四分音符 = 72

(4) 階名 : 階名は次のように記します。

通常使うオクターブ内にある音は半角小文字で表す

S L T d r m f s l t d' r' m' f' s'

オクターブ低い音は半角大文字で表す

オクターブ高い音には ' (dash) をつける

また、変化音は次のように記します。

半音高い音 de re fe se le (階名に e をつける)

半音低い音 ra ma sa la ta (階名に a をつける)

(4) 音価の示し方：音符や休符は次のように記します。

/ 小節線 (スラッシュ)
: 拍の区切り - 記譜上の単位音符を 1 拍とする (コロン)
. 拍の 2 分割 (ピリオド)
, 拍の再 2 分割 (コンマ)
- 前の拍の引き延ばし (ハイフン)
休符 / : . , の間に文字や - がないときは休符

例：こいのぼり (文部省唱歌)

d:F (4/4)

/d . -, r:m . -, f:s : - . f / m . -, f:r . -, f:m : - /

これより細かい音符、例えば 4/4 拍子で 3 2 分音符が出てくる場合は、「8 分音符を 1 拍として記述」と注釈をつけて、そのように記譜してください。また、連符、装飾音などは適当に考えて記述し、注釈をつけてください。

例：三連符 (旋律の上に 3 と書く)

3 3

/d.m.s:d.m.s/

(5) その他：

楽譜を見やすくするために適当なスペースをとってください。

例：春がきた (文部省唱歌)

d:C (4/4)

/s:m.f:s:l/s:m.f:s:d'/l:s:m: -d/r: - : - /

(適当なスペースをとって見やすくしてください)

d:C (4/4)

/s :m.f:s :l /s :m.f:s :d' /

/l :s :m : -d/r : - : - : /

歌詞は、楽譜の下に書くと見やすいかと思いますが、準機種依存文字である半角カタカナを用いないでください。また、歌詞の引用については、正当な引用の範囲を逸

脱しないようご注意ください。